

### 第3学年 総合的な学習の時間学習指導案

- 1 日 時 令和4年11月11日(金) 第5校時
- 2 場 所 3年生教室
- 3 学 年 第3学年 男子7名 女子3名  
自閉症・情緒障害特別支援学級 第3学年 男子1名 計11名
- 4 単元名 「来見スマイル大作せん」
- 5 単元について

○児童観

本学級の児童は、2学年時の生活科の町探検の学習において、自分たちの身の回りにある施設やお店を見学することで、地域に興味をもって学習に取り組んできた。

3学年では、総合的な学習の時間に初めて取り組むということで、学習に対して興味関心がとても高いが、内容の具体的なイメージがない状態であった。そこで、4年生から去年の取組を教えてもらったことで神石高原町の特産物に興味をもち、地域の人達を笑顔にしたいという思いから、こんにゃくも・トマト・ヒゴタイの栽培活動に取り組んだ。2学期には、具体的に笑顔にするためにどのようなことができるのか話し合ったり、考えたことを実行したりしていく。

本学級の児童に、総合的な学習についてのアンケートを行ったところ、結果は次の通りとなった。

		よくあてはまる	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない
		2学期			
1	身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことをみつめています。	9	2	0	0
2	地域の方のために自分にできることを考えています。	6	5	0	0
3	友達や、地域の方がもっている悩みを解決したり、願いをかなえてあげたりしたいと思います。	8	2	1	0
4	解決しようとする課題について何をすればよいのか、何が使えるかを考えることができます。	4	6	0	1
5	課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。	2	6	3	0
6	課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	6	4	1	0
7	たくさんの資料から、さまざまな情報を集めることができます。	5	5	1	0
8	集めた情報から、必要な情報を選んで、調べたことをまとめることができます。	6	5	0	0
9	調べてわかったことを、わかりやすい方法(図、グラフ、表など)を考えてまとめています。	8	3	0	0
10	調べたことを比べたり、仲間分けしたりして何が分かるのかを考えています。	7	4	0	0
11	友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	10	1	0	0
12	発表する相手を考えて、自分の考えとその理由を明らかにして、分かりやすく伝わるように発表を工夫しています。	6	5	0	0

13	自分の考えを進んで伝えています。	8	3	0	0
14	友達と話し合う時、お互いが納得のいく考えをつくろうとしています。	7	4	0	0
15	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか」「学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	6	5	0	0
16	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	8	3	0	0
☆	自分の住んでいる地域のことが好きです。	10	1	0	0
課題発見力	地域の中から、問題を見つけています。	5	6	0	0
課題解決力	自分と相手の考えを比較し、まとめたり伝えたりしています。	8	3	0	0
振り返り力	学習計画に照らし合わせて振り返っています。	8	2	1	0

アンケートの結果から、5「課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。」という項目では、児童の否定的な回答が多かった。その理由として、調べるための適切な資料選びの経験が少ないことが予想される。同様に6「課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。」7「たくさんの資料から、さまざまな情報を集めることができます。」に関しても、同様の理由が予想される。そのため、事前にどのような方法で調べたらよいか、どのような資料が使えるそうかを全体で確認したり、指導者側も使えるようなものを用意しておいたりする必要がある。

### ○単元観

本町は、旧三和町、旧神石町、旧油木町、旧豊松村の四つの町村が合併し神石高原町となった。それぞれの地区の豊かな自然を生かしたこんにやく・トマト・神石牛・ピオーネ等が有名である。

本単元では、特産物を扱うことで、豊かな自然を生かした地域の良さを感じさせるとともに、身近にいる人々を笑顔にする活動を考え実践していきたいと考えている（課題発見力）。

1学期には、去年の3年生の取組を紹介してもらうことで、今年自分達が何をしたいのかイメージを膨らませた。地域の特産物（トマト・こんにやくいも・ヒゴタイ）に着目し、学校・家族・地域の人達を笑顔にするという目的の下、栽培活動を中心に行った。栽培に向けて何をしなければならないのか話し合いながら、計画を立てたり準備をしたりした。さらに、地域の方に栽培方法を教えていただきながら植えることを通して、地域の方の思いや願いに触れる良い機会になると考える。

2学期には、栽培した特産物を使ってどのような活動をしたいのか、目的や実現可能かどうか等の視点に照らし合わせて考え、実行している（課題解決力）。他地域の小学校との交流を通して、地域ならではのよさについて考えることができている。

3学期には、これまで学習してきたことをまとめ他地域の小学校の児童に紹介したり、活動に携わってくださった方々に感謝の気持ちを伝えたりすることを通して、自分の成長を振り返るとともに、地域に対する思いを共有する（振り返り力）。

### ○指導観

指導に当たっては、去年の3年生の取組を4年生に紹介してもらうことで、総合的な学習の時間ではどのような学習をしていくのか、また自分達は何をしたいのかについてイメージをもてるようにした。

活動を設定する際には、子供達の思いや願いを大切にしていくとともに、何のためにするのか、活動の

目的を明確にしていく。また、地域の特産物を取り扱ったり、他地域の小学校の児童との交流を計画したりすることで、豊かな自然を生かした地域の良さを感じられるようにしていきたい。

課題解決の際には、最善の方法を見出すための視点を決め、それを基にペアやグループで検討し、さらに全体で共有する中で練り合いをしていく。学習面や行動面に課題のあるD児やH児が、話し合いの中で自分の考えを伝えたり、共感的に捉え深めたりできるように、話し合いの仕方を普通の授業や特別活動の中で練習する。また、話し合いの視点や条件を決めておくことで、何を考えなければならないのかはっきりさせまとめやすくする。

さらに、地域の人材を積極的に活用することで、地域の方の思いや願いに触れさせ、自分達にさらに何ができるのか考えさせ、地域に対する思いを深められるようにしていく。

振り返りについては、①学んだこと ②自分に付いた力 ③これからがんばること の三つの視点を提示し、それらの中から選択して振り返りをさせる。また、ルーブリックによる評価も行うことで、振り返りの視点をより明確にし、学習の充実を図っていく。

課題発見力	地域の特産物を用いた学習活動にする。
課題解決力	自分たちのしたいことを計画し、協動的に検討しながら実行する。
振り返り力	視点を決めて振り返りをさせたり、ルーブリック評価を取り入れたりする。

## 6 単元の目標

神石高原町の特産物について調べたり栽培したりする活動を通して、豊かな自然を生かした地域の良さを理解し、周りの人々を笑顔にするための具体的な取組を考えるとともに、自己のよさや成長に気づき、地域に対する思いを深めることができるようにする。

## 7 本校で育てようとする資質・能力

課題発見力	地域の中から問題を見つけている。
課題解決力	自分と相手の考えを比較し、まとめたり伝えたりしている。
振り返り力	学習計画に照らし合わせて振り返っている。

## 8 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本校で付けた 資質・能力		課題発見力・課題解決力	振り返り力
単元の 評価 規準	① 豊かな自然を生かして特産物が作られていることを理解している。 ② 特産物の栽培の仕方を知るために、適切な方法で調べている。 ③ 地域の人や組織の思い、取組を理解し、地域に対する思いを深めることは、自分達が探究的に学習していることの成果であることに気付いている。	④ 活動の目的を明確にしながら何ができるか考えている。(課題発見力) ⑤ 特産物を栽培するための準備や方法について、多様な選択肢の中から効果的な手段を選んでいる。 ⑥ 収集した情報を取捨選択したり、比較・分類・整理したりしながら解決に向けて考えている。 ⑦ 地域の人達を笑顔にすると	⑧ 栽培活動や見学・インタビュー等の調べ学習の振り返りを通して、自ら設定した課題の価値に気づき、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。 ⑨ 特産物を用いた探究的な活動体験を通して、自他の考えを大切にしながら協働して課題解決に取り組もうとしている。 ⑩ 地域に対する思いを深める

		<p>いうテーマにつながる活動について、よりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。(課題解決力)</p>	<p>ために自分ができることに取り組むことを通して、自分と地域との関わりを見直そうとしている。(振り返り力)</p>
--	--	---	--

9 単元におけるルーブリック（思考力、判断力、表現力等⑦）（本時におけるルーブリック）

A	B	C
<p>地域の人達を笑顔にするというテーマにつながる活動について、友達と協働しながらよりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。</p>	<p>地域の人達を笑顔にするというテーマにつながる活動について、よりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。</p>	<p>地域の人達を笑顔にするというテーマにつながる活動について、よりよい考えを検討することができず、自分の言葉でまとめようとしていない。</p>

10 主な学習活動と評価規準（全70時間）

主な学習活動		評価規準
一 学 期	<p><b>【課題設定】</b></p> <p>○単元の課題設定をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・去年の3年生の取組を4年生に紹介してもらうことで、総合的な学習の時間についてのイメージをつかむ。</li> <li>・学習の中でどんな活動をしたのか話し合っ考える。</li> </ul> <p>○学習のテーマを決める。</p> <p>年間テーマ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; display: inline-block;">来見スマイル大作せん</span></p> <p><b>1学期【課題設定1】</b></p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">トマト・こんにゃくいも・ヒゴタイを育てよう。</p> <p><b>【情報収集1】</b></p> <p>○設定した課題について計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トマト・こんにゃくいも・ヒゴタイの栽培計画を立てる。</li> </ul> <p>○植え方や育て方について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生や、育て方に詳しい地域の方に聞く。</li> </ul> <p><b>【整理・分析1】</b></p> <p>○収集した情報を基に、必要なものを準備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土作り</li> <li>・苗の用意等</li> </ul> <p><b>【まとめ・表現1】</b></p> <p>○ゲストティーチャーの方に教えていただきながら、トマト・こんにゃくいも・ヒゴタイを植える。</p> <p><b>【課題設定2】</b></p> <p>○新たな課題を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トマトを甘くするために</li> <li>・学校から借りた苗代の返金方法</li> </ul> <p><b>【情報収集2】</b></p> <p>○どのような方法が考えられるか、意見を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループで話し合いながらいくつかの方法に絞込み、全体で共有する。</li> </ul> <p><b>【整理・分析2】</b></p> <p>○実現可能で取り組みやすいと判断できるものを選ぶ。</p>	<p>④活動の目的を明確にしなが何ができるか考えている。</p> <p>②地域の特産物の栽培の仕方を知るために、適切な方法で調べている。</p> <p>⑤特産物を栽培するための準備や方法について、多様な選択肢の中から効果的な手段を選んでいる。</p> <p>①豊かな自然を生かして特産物が作られていることを理解している。</p> <p>④活動の目的を明確にしなが何ができるか考えている。</p> <p>⑥収集した情報を取捨選択したり、比較・分類・整理したりしながら解決に向けて考えている。</p>

	<p><b>【まとめ・表現】</b> ○決めた方法を実行する。</p>	
<p>二 学 期</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">どうすれば地いきの人をスマイルにできるかな？</p> <p><b>【課題設定3】</b> ○こんにゃくいも・トマト・ヒゴタイの中で、どれを使うと一番地域の人を笑顔にできるのか考える。  ○他の小学校と交流するための計画を立てる。</p> <p><b>【情報収集3】</b> ○尾道市立高須小学校・尾道市立瀬戸田小学校にあいさつと交流のお願いのビデオメッセージを送る。  ○栽培しているこんにゃくいもを収穫するための準備をし、収穫をする。</p> <p><b>【整理・分析3】</b> ○「来見スマイル大作せん」のテーマに沿って、笑顔にした人等を考えながら、こんにゃくを使ってどんなことをしたいのか考える。</p> <p><b>【整理・分析3②】</b> ○こんにゃくいもで何ができるか考えたことをグループで話し合い、よりよいものを選ぶ。(本時)</p> <p>○これまでの活動をふり返り、他の小学校に伝えたいことを話し合う。 ・こんにゃくやトマトが有名なことを知ってもらいたい。 ・おいしさを知ってもらいたい。</p> <p><b>【まとめ・表現3】</b> ○自分たちが考えた活動内容について準備・計画・実行する。</p>	<p>④活動の目的を明確にしながら何ができるか考えている。</p> <p>⑧栽培活動や見学・インタビュー等の調べ学習の振り返りを通して、自ら設定した課題の価値に気づき、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。</p> <p>④活動の目的を明確にしながら何ができるか考えている。</p> <p>⑦地域の人達を笑顔にするというテーマにつながる活動について、よりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。</p> <p>⑨ 特産物を用いた探究的な活動体験を通して、自他の考えを大切にしながら協働して課題解決に取り組もうとしている。</p> <p>⑩ 地域に対する思いを深めるために自分ができることに取り組むことを通して、自分との関わりを見直そうとしている。(振り返り力)</p>

	<p>○3学期の交流に向けてこれまでの取組の振り返りをする。</p>	<p>③地域の人や組織の思い，取組を理解し，地域に対する思いを深めることは，自分達が探究的に学習していることの成果であることに気付いている。</p>
<p>三 学 期</p>	<p>3学期【課題】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>高須小学校や瀬戸田小学校と調べたことなどを交流しよう。</p> </div> <p>【整理・分析4】</p> <p>○1・2学期に取り組んだことを整理する。</p> <p>【まとめ4】</p> <p>○担当のグループごとに紹介内容を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えた紹介内容について，グループごとに発表し，アドバイス等を出し合いながら，より良い内容を考えていく。</li> </ul> <p>【表現4】</p> <p>○他校とリモートで調べたことを発表し合う。</p> <p>○これまでの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流を行った学校に感想やお礼のメッセージを送る。</li> <li>・他地域に神石高原町を紹介したことをポスターや新聞等にまとめて，お世話になった方々に紹介する。</li> <li>・これまでの活動の振り返りをまとめ，地域に対する思いや考えを感想に書く。</li> <li>・付いた力や成長したこと等の視点に沿って，自己肯定感を感じられる振り返りをする。</li> <li>・お世話になった方にお礼の手紙を書く。</li> </ul>	<p>⑨特産物を用いた探究的な活動体験を通して，自他の考えを大切にしながら協働して課題解決に取り組もうとしている。</p> <p>⑩地域に対する思いを深めるために自分ができることに取り組むことを通して，自分と地域との関わりを見直そうとしている。</p>

11 本時の学習

(1) 本時の目標

地域の人達を笑顔にするために，自分達が育てたこんにやくいもを使ってどのようなことができるのか考えることができる。

(2) 本時の評価規準（評価方法）

地域の人達を笑顔にするというテーマにつながるための活動を考え検討している。

(3) 準備物

〔指導者〕 掲示物

〔児童〕 ワークシート

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準
<p>1 学習計画を振り返る。</p> <p>2 めあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの活動を振り返らせ、今日の活動の見通しをもたせるとともに、ゴールを確認させる。</li> <li>・今日のめあてを児童に考えさせる。</li> </ul>	
<p>来見スマイル大作せんをせいこうさせるために、こんにやくいもを使って何ができるのか話し合おう。</p>		
<p>3 今日の学習の流れを確認する。</p> <p>①3つのグループに分かれる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Aグループ（4人）</li> <li>・Bグループ（4人）</li> <li>・Cグループ（3人）</li> </ul> <p>②考えている内容について意見を出し合う。</p> <p>③出た意見をもとに一番したいことを決める。</p> <p><b>【話し合いポイント】</b></p> <p>☆地いきの人が本当にえがおになるかな？</p> <p>☆自分たちでできる活動かな？</p> <p>4 グループごとに話し合い、一番取り組みたい活動を決める。</p> <p>5 グループで話し合ったことを発表し、取り組みたい活動を決める。</p> <p>6 振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と本時の流れを確認する。</li> <li>・ピラミッドチャートを用いて話し合いを進めさせるため、使い方の説明をする。</li> <li>・話し合う視点を確認させる。</li> <li>・目的や理由を明らかにして相手に意見を言わせる。</li> <li>・話し合いポイントを意識して考えさせる。</li> <li>・各グループで一番取り組みたい活動の中から、目的に合ったものを決めさせる。</li> <li>・本時の学習の振り返りと自己評価をさせる。</li> <li>・次時からの見通しを確認させる。</li> </ul>	<p>○地域の人達を笑顔にするというテーマにつながるための活動を考え検討している。</p>

12 板書計画

**課題** 来見スマイル大作せんをせいこうさせるために、こんにやくいもを使って何ができるのか話し合おう。

**学習の流れ**

- ① グループで話し合う。  
Aグループ  
Bグループ  
Cグループ
- ② 一番に取り組みたいことを決める。
- ③ 全体で出した意見をかくにんする。

話し合いポイント！  
☆地いきの人が本当にえがおになるかな？  
☆自分たちでできる活動かな？

A B C

それぞれのグループで考えた内容

The diagram illustrates a lesson plan. At the top, a box contains the '課題' (Topic) about making '来見スマイル大作せん' (Kaimi Smile Great Work) using 'こんにやくいも' (Konnyakuimo). Below this, the '学習の流れ' (Learning Flow) is listed in three steps: 1. Group discussion (A, B, C groups), 2. Deciding on the most interesting activity, and 3. Recording the group's opinion. A thought bubble contains '話し合いポイント！' (Discussion Points!) with two questions: '☆地いきの人が本当にえがおになるかな？' (Will the local people be really happy?) and '☆自分たちでできる活動かな？' (Can we do an activity ourselves?). Below the bubble, three triangles represent groups A, B, and C. A box labeled 'それぞれのグループで考えた内容' (Content thought by each group) is positioned between the triangles.